

「温もりを届けたい、手から心へ」……………

たまちゃん通信

平成 27 年 9 月発行 **69-2**

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

写真絵本『お手玉』が小3『国語』の教科書に

「むかしからつたわる遊びの本を読もう」と紹介

監修：日本のお手玉の会、文：大西伝一郎（児童文学作家・日本のお手玉の会新居浜支部顧問）の写真絵本『お手玉』（文溪堂）が、小学3年生の『国語』（上：光村図書）の教科書に、「この本、読もう」と紹介されています。

この教科書に、こま名人の安藤正樹先生（尚綱学院准教授・全日本独楽回しの会会長）の『こまを楽しむ』という文章が掲載されています。

その文章の最後に、「この本を、読もう」と、昔から伝わる遊びの本を4冊紹介しています。その中に『お手玉』が加えられています。

安藤先生とは、日本のお手玉の会が平成11年から7年連続して参加した、野外伝承遊び国際会議・国際大会で親しく交流しているほか、東京支部のみなさんとは、六本木ヒルズ前での恒例の正月の遊びに、12年間、一緒に参加しています。

また、安藤先生は、写真絵本『独楽（こま）』（文溪堂）の執筆者でもあり、写真絵本『お手玉』を初版本から、大学の授業でテキストに使っていただいています。

この教科書の情報は、野外伝承遊び国際会議・国際大会の副実行委員長を務めた、日本のお手玉の会の中山順子理事からいただきました。また、森勝代理事（和歌山のお手玉の会会長）からも、情報提供がありました。



写真絵本『お手玉』は23刷目に

写真絵本『お手玉』は、このところのお手玉人気の上昇に合わせて、売れ行きが伸びています。今年の2月の22刷り目につづいて、7月に23刷目を迎えました。

これは、全国の各支部や会員のみなさんが、精力的にお手玉の普及活動に取り組まれていること、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などマスコミで、お手玉の素晴らしさが科学的に証明され、教育、医療、健康、介護など多方面に効用があることが認められてきたおかげです。

